



## 今月の主な内容

- 卒業式・閉校式
- 町政執行方針
- 湧別高校生向け学生寮の建設

## 今月の表紙

在校生から卒業の祝福  
中湧別小学校卒業式





# 旅立ちの日に

小・中・義務教育・高等学校で卒業式

ともに過ごした仲間との思い出を胸に、  
それぞれの目標に向かい学校をあとにしました。  
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。







# 長い歴史に幕

富美小学校・開盛小学校・中湧別小学校・上湧別小学校・上湧別中学校で閉校式





# 令和7年度 町政執行方針

4月から新しい年度が始まりました。この1年間、どのようにまちづくりを進めていくのか、3月の町議会定例会で刈田町長が町政執行方針を述べ、その実現に必要な予算が決定しました。「人と自然が輝くオホーツクのまち」を目標に掲げる町政の執行方針（要旨）をお知らせします。

## はじめに

令和3年11月に湧別町長として就任し、町政の重責を担わせていただくことになってから早くも3年3カ月が経過し、残り任期は8カ月あまりとなりました。

これまで、町民の皆さまや関係団体の温かいご支援ならびに議員の皆さまのご指導のもと、多くの課題解決に誠心誠意取り組んでまいりました。

これからも、将来の湧別町のあるべき姿を思い描きながら、町民の皆さまから寄せられた声にしっかりと耳を傾け、前例は参考にしつつも変化を恐れずに、「町民が安心して暮らせる持続可能な地域社会の実現」を目指します。

## 町政を取り巻く諸情勢

わが国の経済情勢は、「景気は一部に足踏みが残るものの、穏やかに回復している」とされ、先行きについては、雇用・所得環境が改善するもとで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるが、欧米における高い金利水準の継続や、中国における不動産市場の停滞の継続にともなう影響など、海外景気の下振れがリスクとなっており、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動などの影響に十分注意する必要があります」とされております。

政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2024」において、消費の回復に向けた持続的・構造的賃上げのための取り組みに加えて、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の抜本的強化などに引き続き取り組み、デフレからの完全脱却、そして経済の新たなステージへの移行へとつなげていくとしております。

地方行財政においては、引き続きデータとデジタル技術の活用、地域と共生した再エネルギー導入推進、少子化対策・こども政策の抜本的強化、地方活性化と交流拡大のためのコンパクト・プラス・ネットワークの深化・発展に取り組み、また、防災・減災対策やインフラ施設の長寿命化などの課題に対処していくことが求められております。

このような状況のなか、限られた財源を有効に活用し、行財政運営全般にわたり厳しく見直しを行うとともに、未来志向の中でスピード感をもって町民ニーズに応えられる町政運営を行います。

## 令和7年度の「重点施策」

### 中心市街地の活性化と

#### まちなか賑わいの創出

・外部専門家の地域力創造アドバイザーを招へいし、文化センターT

OM周辺の具体的な整備方針や空き校舎の活用などについて町民の皆さまとともに議論を進めます。



・町民ワークショップや団体からのニーズが高かったコインランドリー施設を整備します。

## 子育てしやすいまちづくり

・「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」を拠点として、妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境の更なる充実に努めます。

・新たに助産師を会計年度任用職員として採用し、母乳相談など専門的なアドバイスやケアを身近に提供できる環境を整えます。

・老朽化した芭露保育所の改築工事を行います。

・保育料の完全無償化を継続します。  
・母子手帳アプリを導入し、予防接種や健康記録を電子化するとともに、子育て情報を検索しやすくするため、現在の町ホームページを一部改修します。





## 産学官連携と

### 関係・交流人口の拡大

- ・産業団体で組織する産業間ネットワークと連携し、若者がつながる交流機会や、産業後継者の出会いの機会を提供します。
- ・新篠津村産の酒米を使用した「日本酒・湧別」の販売や海洋熟成酒の商品化に対し支援します。



- ・保育園留学を通年で受け入れ、本町の魅力を発信し、家族ぐるみの長期的関係人口創出に取り組みます。
- ・**保育園留学** 子育て世帯が短期間地域に滞在し、子どもは地域の保育園に通い、保護者はテレワークで仕事をしながらその地域の暮らしを体験するもの

- ・包括的連携協定を締結している小樽商科大学、北海道大学大学院教

育学研究院の2大学と相互に連携・協力を図ります。

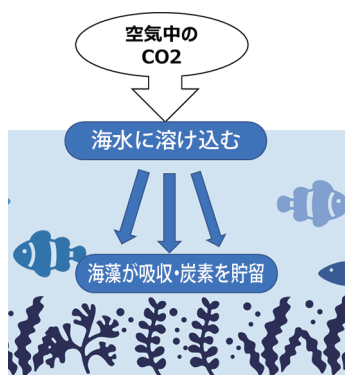
- ・小樽商科大学のサテライト教室の開設備に組み込みます。

・**サテライト教室** インターネットでもオンライン授業を行うことのできる、本校から離れた場所に開設する教室

## ゼロカーボンの推進

- ・文化センターTOMや湧別認定こども園などの照明をLED化します。

・「ブルーカーボン」生成に向け、メタン発酵消化液を活用した藻場造成の実証試験を引き続き行います。



- ・バイオガスプラントから発生するエネルギーを有効活用するための事業性調査、森林の管理体制の構築など、ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを推進します。

・**ゼロカーボン** 二酸化炭素を含む温室効果ガス排出量を実質ゼロにするものと

## 行政機能の集約化

- ・令和8年3月までに、新庁舎建設と中湧別小学校改修の実施設計完

了に向け、丁寧な情報発信に努めるとともに議員の皆さまともしっかりと協議させていただきます。

・新庁舎の供用開始はまだ先ですが、必要な行政機能の集約は一步步づつ着実に進めます。

## 令和7年度の「主要な事業」

安全・安心で快適に暮らし続けられるまちづくり

### 定住促進・住宅環境

- ・個人の持ち家を奨励し、特に子育て世代や転入者に対して手厚い支援を行います。

・現在分譲中の第2はまなす団地に加え、旧湧別小学校跡地に分譲宅地を造成するための測量設計を実施します。

- ・民間資金を活用した賃貸住宅や住宅の建設への支援を5年間延長します。

・国の補助制度を活用しながら、引き続き空き家戸数増加の抑制に取り組めます。

### ごみの収集・処理施設

- ・ごみの減量が進むよう、分別の徹底やリサイクル意識の向上を図るとともに、効率的な収集体制の構築に取り組めます。

## 高規格道路旭川・紋別自動車道

・遠軽上湧別道路の早期開通と、それ以降の新規事業化に向けて要望を続けます。

### 町営バス

- ・佐呂間町が運行する「ふれあいバス北見線」に乗り継ぐことができる「中湧別・佐呂間線」を1便増便します。

### 交通安全

- ・交通事故死ゼロ目標を300日に設定し、交通安全思想の普及啓発に努めます。

### 防災

- ・湧別地区の屋外防災スピーカー設備と、津波対策として湧別漁港と登栄床漁港に設置してあるライブカメラ3基を更新します。

豊かな自然と産業がともに息づく活気あふれるまちづくり

### 漁業

- ・「つくり育てる漁業」の推進と漁業生産の安定確保に向け、湧別漁業協同組合と連携し漁業振興策を推進します。

- ・ホタテ玉冷加工場が本稼働しており、引き続き関係機関と連携し水産業の成長産業化を推進します。
- ・中番屋地区導船物揚場施設の岸壁の補強・拡張工事に対し支援します。



## 農業

- ・両農業協同組合との連携を深め、農業振興策を推進します。
- ・家畜排せつ物の処理時の環境負荷軽減を目的とした集中型バイオガスプラントの10月稼働に向け、引き続き支援しバイオマス産業都市構想の具現化を図ります。



## 観光

- ・チューリップ公園をはじめとする観光施設の魅力を最大限に引き出し、持続可能な観光地づくりを推進します。
- ・近隣観光地との連携を強化し、広域観光ルートの集客や連携型イベントを実施します。

## 地域おこし協力隊

- ・お試し協力隊や協力隊インターン生の受け入れ、新規隊員募集のほか、隊員の日常生活や業務も支援します。
- ・現役隊員と隊員卒業生とのつながりが持てるネットワーク機会を提供します。

## 林業

- ・遠軽地区森林組合と連携し、私有林の造林や保育事業など森林整備に対する支援を継続します。
- ・地域に必要とされる活性化策や事業化について調査検討を行う「森林資源活用プロジェクト」を推進します。

## 商工業

- ・中小企業に対する資金調達支援を3年間延長します。
- ・商工会が実施する事業への支援を強化し、新規起業や事業承継を促進します。
- ・本年度2回実施を予定している「愛町購買事業」に支援します。

誰もがいきいきと笑顔で暮らせる  
ぬくもりのあるまちづくり

## 健康づくり

- ・健康で暮らしていくため、総合健診や予防接種をはじめとした各種保健事業を継続します。
- ・新たに65歳以上を対象に定期接種が始まる带状疱疹ワクチンの対象者を町独自で拡充し、50歳以上の予防接種費用を助成します。

## 地域医療

- ・地域医療を守り続けるため、遠軽厚生病院とゆうゆう厚生クリニックを支援します。

- ・町内唯一の入院病床を有する曽我病院の入院病床の維持費用や医療機器などの整備を引き続き支援します。
- ・新たに歯科医療機関の医療機器などの整備を支援します。

## 母子保健

- ・医療機関で実施される1カ月児個別健診費用の助成を新たに開始します。
- ・乳幼児健診や相談事業のほか、家庭訪問や妊婦のための支援給付事業、育児パッケージプレゼント事業などを通じて、すべての妊婦・子育て世帯に寄り添う伴走型支援を継続して実施します。



## 障がい者福祉

- ・障がいのある方々が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができよう各種事業を実施します。
- ・障害児通所支援事業を行っている湧別図書館内の「ぱすてる」にエアコンを設置します。

## 高齢者福祉・介護保険

- ・高齢者の方々が自立した生活を送ることができるよう、介護予防事業や老人会などを支援します。
- ・湧愛園と湧愛園ちゅうりっぷの里の非常用発電設備と、町内の各入所施設のエアコン設置に対し支援します。

豊かな心とふるさとを愛する心を  
育むまちづくり

## 学校教育

- ・上湧別学園の開校により町内すべての学校が義務教育学校となることから、学校間の連携を強化して本町がめざす小中一貫教育を一層推進します。

## 学校給食

- ・食材価格の高騰が続いていますが、子育て世代の負担を軽減するため給食費を据え置きます。

## 湧別高等学校の魅力化存続対策

- ・建設・寄付いただく学生寮の令和8年度からの利用に向け、入寮する生徒や保護者が安心できる生活環境や運営体制を整えます。
- ・遠方からオープンスクールに参加する方や、遠方から入学する生徒の交通費を支援します。
- ・町営の学習塾開講にともない、充実した受入体制や学習環境などを



町内外に広く発信し、進学先として選ばれる高校づくりに取り組みます。

## 国際交流

・友好都市であるカナダ・ホワイトコート町とニュージーランド・セルウィン町から訪問団が来町する予定であり、滞在期間中には記念行事を開催し、友好親善を推進します。

## 町民一人ひとりが支え合い助け合う思いやりのあるまちづくり

## 町民協働

・自治基本条例に基づいた町政運営を進めるとともに、自治推進委員会から受けた提言を基に、条例の推進に向けた取り組みを行います。

## 自治会活動支援

・持続可能な地域づくりを推進するため、自治会に策定を推進している「地域の活性化計画」について、引き続き地域の皆さまとともに取り組みます。

## 多文化共生

・町民を対象とした日本語学習支援者養成講座を開催します。  
・外国人の方々が日本文化を体験でき、地域の方々と交流できる機会を提供します。

## ふるさと納税

・都市部への情報発信の強化や寄付

受付ポータルサイトの充実のほか、特産品の販路拡大、知名度向上を図ります。

## ポータルサイト

・スマートフォンやタブレットで欲しい情報を閲覧・確認したいときに最初に表示される場所のこと

・町内事業者に対し、地域資源を生かした新たな特産品開発、付加価値向上やイメージアップの取り組みを支援します。

・企業版ふるさと納税については、まちづくりの考え方や施策を発信するとともに、私の熱い思いに共感いただき、本町を応援いただけるよう取り組みます。

## eスポーツ

・湧別高校eスポーツ部の活動支援などの取り組みに加え、プロプレイヤーの招へいや大会の開催により、将来のeスポーツスタジオ開設に向けた気運醸成、文化の定着に取り組みます。



## 情報共有

・広報ゆうべつ、町ホームページ、Instagramを活用しながら、

行政情報と魅力の発信に努めます。  
・町の公式LINEに、各種事業のカレンダー予約や相談、ごみ分別などの自動回答、必要とする情報だけを受け取ることでできる機能などを拡張するとともに、スムーズに検索できるようホームページとの連携を図ります。



・地域担当スタッフ制度、まちづくり懇談会、町長への手紙、ふれあいトーク、いつでもカフェなど、さまざまな形で町政に参加できる機会を提供します。

## 行政効率化

・PDCAサイクルにより事務・事業の実施プロセスや成果の検証を行い、効率的で効果的な行政運営に努めます。

・PDCAサイクル Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことにより、業務を継続的に改善していく手法

## 人材育成

・質の高い行政サービスの維持・向上のため、広域的な社会人採用や職員の積極的な研修参加を進めると

ともに、本年度も文部科学省に職員を派遣し、人材育成を図ります。  
・職員のウェルビーイング実現のため、労働環境の向上に努めます。  
・ウェルビーイング心身と精神、社会がともに良い状態であること

## むすび

私たちには、先人たちが守り育ててきた豊かな自然や、築き上げてきた歴史・文化を次の世代へ引き継いでいく責任があります。

人口減少社会という大変厳しい社会情勢にあっても、「ここに住んでいてよかった」「ここに住んでみたい」と思っていたただける魅力的な町を築いていくために、職員一丸となって本計画に掲げる施策の実行にまい進してまいります。

最も大切にするべきことは、「自分達が誠実に正しい仕事をしている」という気持ちですが、町民の皆さまの信頼を得て、さらに私たちの働くエネルギーとなる」ということだと考えており、私自身、リーダーシップを持って、強い気持ちで誠実に取り組んでまいります。

※教育行政執行方針の詳細は3月25日発行の「湧く湧く」に掲載しています。